平成 30 年度

今治市中学生議会　会議録

平成３０年８月２日

８月２日

出　席　議　員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
説明のため出席した者の職・氏名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
市議会出席議員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
市議会事務局出席職員・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
議　事　日　程・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
開　　　会
　　越智豊議長挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
　　菅良二市長の招集挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
開　　　議
日程１　議席の指定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
日程２　会議録署名議員の指名・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
日程３　会期の決定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
日程４　一般質問
　　近藤　展晟、矢野　珠唯　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
　　　　安井孝産業部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
　　竹田　浩平、難波　和佳奈　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
　　石村　彩羽、中田　貴之　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
　　西　幸多、村上　瀬凪　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
　　　　石丸司健康福祉部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
　　西本　怜生、北川　野乃　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
休　　憩（午後１時 30 分）
再　　開（午後１時 40 分）
　　山岡　巧東、馬越　咲彩　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
　　　　阿部正志上下水道部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
　　岡田　和樹、瀧口　侑加　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　　岡田　和樹、瀧口　侑加　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　　　　片山司市民環境部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
　　古川　結雅、越智　晴美　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
　　　　菅良二市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
　　　　八木良二教育長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

休　　憩（午後２時 19 分）
再　　開（午後２時 21 分
藤井　優月、國貞　慎由　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
菅良二市長の答弁・・・28
新居田昌彦農水港湾部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
首藤　将旭、矢島　和佳　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
越智博副市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31
川崎　和音、長井　尊将　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
菅良二市長の答弁・・32
林秀樹教育委員会事務局長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
休　　憩（午後２時 50 分）
再　　開（午後３時 00 分）
井出　湧大、一文字　楓子　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35
菅良二市長の答弁・・36
阿部　祥万、大塚　菜々　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・37
越智博副市長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
丹下　颯太、赤尾　真奈　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
菅良二市長の答弁・・40
一色剛司都市建設部長の答弁・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
阿部　善斗、槇　麗奈　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
菅良二市長の答弁・・42
上森　勇大、相原　良香　議員の質問・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
菅良二市長の答弁・・44
菅良二市長の講評・・46

閉　　会（午後４時 00 分）

今治市中学生議会　会議録

出　席　議　員

1番	近見中学校	コンドウ　テンセイ 近藤　展晟	2番	近見中学校	ヤノ　ミユ 矢野　珠唯
3番	立花中学校	イシムラ　サワ 石村　彩羽	4番	立花中学校	ナカタ　タカユキ 中田　貴之
5番	桜井中学校	ニシモト　レイ 西本　怜生	6番	桜井中学校	キタガワ　ノノ 北川　野乃
7番	南中学校	フルカワ　ユウガ 古川　結雅	8番	南中学校	オチ　ハルミ 越智　晴美
9番	西中学校	ストウ　ショウキ 首藤　将旭	10番	西中学校	ヤジマ　ワカ 矢島　和佳
11番	北郷中学校	イデ　ユウダイ 井出　湧大	12番	北郷中学校	イチモンジ　フウコ 一文字　楓子
13番	日吉中学校	タンゲ　ソウタ 丹下　颯太	14番	日吉中学校	アカオ　マナ 赤尾　真奈
15番	今治東中等教育学校	ウエモリ　ユウダイ 上森　勇大	16番	今治東中等教育学校	アイバラ　ヨシカ 相原　良香
17番	今治明徳中学校	オカダ　カズキ 岡田　和樹	18番	明徳中学校	タキグチ　ユウカ 瀧口　侑加
19番	朝倉中学校	カワサキ　ナオ 川崎　和音	20番	朝倉中学校	ナガイ　タカト 長井　尊将
21番	玉川中学校	アベ　ショウマ 阿部　祥万	22番	玉川中学校	オオツカ　ナナ 大塚　菜々
23番	大西中学校	アベ　ヨシト 阿部　善斗	24番	大西中学校	マキ　レナ 槇　麗奈
25番	菊間中学校	タケダ　コウヘイ 竹田　浩平	26番	菊間中学校	ナンバ　ワカナ 難波　和佳奈
27番	大島中学校	ニシ　コウタ 西　幸多	28番	大島中学校	ムラカミ　セナ 村上　瀬凪
29番	伯方中学校	ヤマオカ　タクト 山岡　巧東	30番	伯方中学校	ウマコシ　サアヤ 馬越　咲彩
31番	大三島中学校	フジイ　ユヅキ 藤井　優月	32番	大三島中学校	クニサダ　ジンユウ 國貞　慎由

説明のため出席した者の職・氏名

市　長	菅　　良 二	副市長	越 智　　博
監査委員	渡 辺 英 徳	教育長	八 木 良 二
総務部長	矢 野 隆 治	企画財政部長	越 智　　透
健康福祉部長 （兼）福祉事務所長	石 丸　　司	市民環境部長	片 山　　司
産業部長	安 井　　孝	農水港湾部長	新居田 昌 彦
都市建設部長	一 色 剛 司	上下水道部長 （兼）水道部長	阿 部 正 志
消防長	山 崎 秀 喜	教育委員会事務局長	林　　秀 樹
財政課長	鳥 生 敬 二		

市議会出席議員

議長	越 智　　豊	副議長	矢 野 雄 嗣
広報広聴特別 委員会委員長	松 田 敏 彦	広報広聴特別 委員会副委員長	木 村 文 広
議会運営 委員会委員長	加 藤　　明	議会運営 委員会副委員長	谷 口 芳 史

市議会事務局出席職員

局　長	門 田 誠 五	次　長 （兼）議会総務課長	秋 山 律 也
議会総務課長補佐	正 岡 直 記	議会総務課長補佐	岡 田　　伸

議　　事　　日　　程 （平成 30 年８月２日）	
日程番号	議　　事　　内　　容
1	議席の指定
2	会議録署名議員の指名
3	会期の決定
4	一般質問

○越智豊議長

私は、今治市議会議長の越智豊でございます。今日は、今治市中学生議会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。今治市内の 16 の中学校から 2 人ずつ、あわせて 32 名の中学生にお集まりをいただき、今治市中学生議会を開かせていただきました。

ようこそいらっしゃいました。心から歓迎を申し上げます。

若い世代が政治に関心を持ってもらいたい。そして、私たちの今治市議会を身近に感じてもらいたい。そのような思いで始めました中学生議会は今年で 3 回目となりました。

また 7 月の豪雨災害により被災された方々に心よりお見舞い申し上げるとともに、菅市長さんはじめ各理事者の方々におかれましては、災害対応で大変お忙しい中、ご出席をいただきました。ありがとうございます。

中学生の皆様は、リラックスして、いろいろ常日頃考えていることを、皆さんの目線から、質問してください。今治市の今までの取り組みや、今後今治市にどうなってもらいたいのか、どうすればいいのかをたくさん、考えてこられたと思います。すばらしい質問をしていただくと同時に、その将来を見越した質問をしていただくと、こんなにうれしいことはありません。私も今日は特別に、市の理事者の席に座らせていただいて、身近に皆さんの質問を聞かせていただきます。応援しておりますので、ぜひ、がんばってください。

最後になりましたが、各学校の先生方、そして保護者の皆様、こうして御支援を賜り、また御協力をいただきましたことを心から感謝を申し上げます。

本当に今日はありがとうございました。

それではこれから、私が、中学生議会の議長を指名して、中学生議会を進めたいと思います。議長は、23 番大西中学校の阿部善斗議員にお願いいたします。

○阿部善斗中学生議会議長

私は、初めに議長をつとめます、大西中学校の阿部善斗です。よろしくお願いします。本日の出席議員は 32 名です。

ただ今から今治市中学生議会を開会いたします。

市長から中学生議会招集のあいさつがあります。

○菅良二市長

中学生議会の議員の皆さん、こんにちは。今治市長の菅良二です。

先ほども昼食をご一緒しましたが、議場の中で、こうして皆さんのお顔を拝見しておりますと、緊張感の中にも、引き締まった力強い眼差しで、今治市への思いや意見をしっかり伝えようと準備を重ね、今日の中学生議会に臨んでくれているんだなと、そんな熱い思いが伝わってまいります。大変頼もしく、嬉しく感じております。

この議場で開かれている今治市議会の本会議では、市議会議員の皆さんから、市が提案した議案や市政に関することについて、質疑・一般質問が行われます。本会議では、通常、私と関係部長が答弁をすることになっておりますが、今日の中学生議会では、ぜひ副市長、就任して１年半、まだ顔をよく存じてない方もおられると聞いておりますので、是非、今日答弁にも加わってもらいたい。質問に答えてもらいたいと思い、私に代わって副市長が答弁する機会も設けていただきました。

私も、ここにおります副市長、教育長、部長とともに、しっかりとお答えをさせていただきますので、皆さんも自信を持って、堂々と発言してください。

さて、西日本各地に甚大な被害をもたらした７月の豪雨から、もうすぐ１か月になります。本市においても、想像を超える記録的な大雨によって大規模な災害が発生し、災害救助法の適用を受けました。特に、吉海地区と伯方地区でお二人の方が土砂災害の犠牲になり、尊い命が失われたことは、残念でなりません。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆様には心からお見舞いを申し上げます。

現在、職員一丸となって、今回の豪雨災害で不便や不安を感じておられる市民の皆様に、一日でも早く普段の生活を取り戻していただけるよう、被災者支援や災害復旧に全力で取り組んでおります。同時に、この経験を教訓として、市民の命と生活を守る今後の災害対策にしっかりと取り組んでまいります。

今日の中学生議会でも、地震など災害対策に関連した質問をいくつもいただいており、中学生の皆さんも関心を持って考えてくれていることを心強く思います。詳細はこの後お答えしますが、防災の考え方に「自助・共助・公助」という言葉があります。いざという時には、この共に助ける共助の力、地域のつながりや助け合いが大きな役割を果たします。きっと皆さんの力が、仲間や地域

の大きな助けになりますので、普段から自分の住んでいるまちに目を向け、積極的に地域の活動にも関わっていただければありがたいと思います。
　本日のこの中学生議会が実り多いものとなりますことを心から期待申し上げ、開会に当たっての私からのあいさつといたします。

○阿部善斗中学生議会議長
　菅市長さん、ありがとうございました。
　これより本日の会議を開きます。本日の議事日程はお手元に配付の日程表のとおりであります。また、本日の中学生議会につきましては、報道機関などから撮影をしたいとの申し出があり、撮影を許可しておりますので、ご了承ください。
　日程第１、議席の指定を行います。議席は、議長において皆さんが今着席しているとおり、議席を指定いたします。
　日程第２、会議録署名議員の指名を行います。
　会議録署名議員は、10 番矢島和佳議員、32 番國貞慎由議員、以上、２名の方を指名いたします。
　日程第３、会期の決定を議題とします。
　おはかりします。
　今治市中学生議会の会期は、本日１日としたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（　「異議なし」と言う　）

○阿部善斗中学生議会議長
　ご異議なしと認めます。よって、会期は、本日１日と決定しました。
　日程第４、一般質問を行います。
　質問の順番は、各議席に配付しております一般質問順のとおりです。通告者の発言を順次許可いたします。
　初めに、１番近見中学校近藤展晟議員、２番矢野珠唯議員。

○近藤展晟議員
　近見中学校３年近藤展晟です。

○矢野珠唯議員
　３年矢野珠唯です。

○近藤展晟議員
　僕たちは、しまなみ海道から考える今治市の活性化について２つ質問します。まず１つ目です。僕は、しまなみ海道のよさを発信しているのは、海外の方も含めたたくさんのサイクリストの力が大きいと感じています。そこで、海外の方にもやさしいマップや案内板づくり等で私たち中学生にも協力できることがあれば教えてください。

○矢野珠唯議員
　２つ目の質問です。しまなみ海道を世界遺産に登録することは不可能でしょうか。しまなみ海道の、橋を含む景観の美しさや橋から見渡す多島美は世界に誇れるものだと思います。また、橋が島と島の生活をつないだり日本と世界のサイクリストをつないだりする文化的な価値も高いと思います。もし、自然遺産としても文化遺産としても価値をもつしまなみ海道が世界遺産に登録されれば、今治市がもっと世界に発信され地域経済が発展し地域で働く人も増えると思います。検討をお願いします。以上で私たちの質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　近藤展晟議員、矢野珠唯議員、一番手のご質問、しまなみ海道から考える今治市の活性化についてのうち、１点目の海外の方にもやさしいマップや案内板づくり等で協力できることに関しまして、私、今はもう無くなった宮浦中学、今大三島中学に大合併してなっております出身の私から、お答えをさせていただきます。しまなみ海道自転車道の今治側玄関口の地元である近見中学のみなさんからは、毎年、しまなみ海道から今治市を考えるという視点での提案をいただいており、今回の提案も海外からのサイクリストを普段からよく見かけている近見中学生ならではのものと思います。
　2020 年の東京オリンピック・パラリンピックが近づくにつれて、訪日外国人観光客数は大きく伸びており、この瀬戸内しまなみ海道地域を訪れる外国人観光客も、年々増加しています。訪れたサイクリストの方々は、しまなみ海道の景色や人々のおもてなしに感動し、ＳＮＳ等を通じて、しまなみ海道サイクリングの素晴らしさを全世界に発信していただいております。こうした海外の方を含めたサイクリストに、地元の中学生のアイデアとおもてなしの心が表れた案内看板やマップを見ていただければ、さらにこの地域の良さを実感していただけるものと思います。海外の方にもわかりやすい観光マップや観光案内板づくりについて、

地元の中学生ならではの感性で、どこにどのような案内板を設置すれば効果的か、また、マップについても、従来のような案内板タイプのマップなのか、紙のマップなのか、又は、スマホのアプリのようなものはどうかなど、学校のみなさんで良く検討されて、若者らしいアイデアを市の観光課に提案していただきたいと思います。近見中学校のみなさんのアイデアとおもてなしの心が、海外の方を含めたサイクリストの方々に感動を与え、しまなみ海道や今治の魅力がさらに世界中に伝わることを願っております。若い感性に期待をしています。一緒に頑張りましょう。しまなみ海道を世界遺産に登録することは可能かにつきましては、産業部長からお答えをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○阿部善斗中学生議会議長
　安井産業部長。

○安井孝産業部長
　西中学校を卒業しました、産業部長の安井と申します。近藤議員、矢野議員のご質問のうち、２点目のしまなみ海道を世界遺産に登録することは可能かについてお答えいたします。
　日本の世界遺産は、現在、文化遺産が 18 件、自然遺産が４件の合わせて 22 件ございます。文化遺産は、法隆寺をはじめ、人類の歴史上重要な時代を例証する建築様式、建築物群、技術の集積又は景観の優れたものとなっています。また、自然遺産は、屋久島や知床など、特徴的な地形や美しい風景、貴重な動植物の生息地などを含む地域を対象としています。しまなみ海道につきましては、多島美で景観に優れ、また、近年、世界中からサイクリストの聖地として注目を集め、海外からの観光客も増えている状況です。
　しかしながら、世界遺産への登録となりますと、その歴史的な価値、生態系に関する重要性などを一つ一つ検証し、国内のみならず人類すべてに価値があることを証明していく必要があり、しまなみ海道の登録は困難であると思われます。
　一方で、今治市ではしまなみ海道で結ばれた広島県尾道市と連携して、平成 28 年４月に、中世の瀬戸内海で活躍した村上海賊のストーリーを作成し、文化庁から日本遺産の認定を受けています。世界遺産がその価値を保護していくことを目的としているのに対し、日本遺産は、地域の歴史や伝統を語るストーリーを構成する有形無形の文化財を総合的に整備、活用し、発信していくことで地域活性化を図ることを目的としているという点で、ご質問の地域活性化につなげるには、日本遺産の方が適していると思っています。
　このため、村上海賊を地域の活性化に繋げるべく、関連イベントや講座などを積極的に開催し、情報発信を強化しているところです。大島、宮窪町の村上水軍博物館では、日本遺産に関する企画展を常時開催していますので、一度足をお運びいただき、村上海賊の歴史や文化に触れて欲しいと思います。
　また、大三島には日本遺産の構成文化財の一つにもなっている大山祇神社があり、国宝及び国の重要文化財に本殿や武具甲冑類など 84 点が指定されており、瀬戸内の歴史ロマンを大いに感じることができます。本日ご出席の議員の皆さんにおかれましては、夏休みを利用して、瀬戸内の歴史について学んでいただき、しまなみ海道や村上海賊などについての情報

発信にご協力いただければと思っております。以上でございます。

○阿部善斗中学生議会議長
　近藤展晟議員、矢野珠唯議員。

○近藤展晟議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　以上で、近藤展晟議員と、矢野珠唯議員の一般質問を終わります。
　次に、25 番菊間中学校竹田浩平議員、26 番難波和佳奈議員。

○難波和佳奈議員
　菊間中学校３年難波和佳奈です

○竹田浩平議員
　３年竹田浩平です。

○難波和佳奈議員
　私たちは、地域を活性化するために私達ができることについて質問します。私たちは３年生の総合的な学習の時間に、菊間を活性化するための活動をしています。私は菊間町内の観光地に設置する看板を作っています。その看板には説明文、お供馬をモチーフにした瓦、私達が作成したＰＲ動画を見るためのＱＲコードなどを掲示し、菊間をもっとアピールしようと考えています。今治市としては地域を活性化するためにどのような取組をしているか、教えてください。

○竹田浩平議員
　僕の担当はＦＭラジオバリバリと連携して菊間駅にある放送室で菊間の魅力を今治市民

に発信することです。今までに２回放送してきました。放送では、菊間の名所である歌仙の滝、無形文化財である加茂神社のお供馬や愛媛県伝統的特産品である菊間瓦を紹介しました。これらの活動を通して、地域を活性化するためには関係諸機関と連携することが大切であることを学びました。地域の活性化のために今治市と中学生が連携してできることにはどのようなことがあるかどうかについて教えてください。私たちも協力していきたいと思います。以上で質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　菊間と言えば昔からバレーが大変強いと言うことで有名でありましたが、竹田、難波両議員とも、バレー部に所属と聞いております。お二人のご質問地域を活性化するために私達ができることについてに関しまして、私からお答えをさせていただきます。
　地域の活性化に協力したいという、非常に心強い質問、ご提案をいただきました。また、７月 17 日に開催されました菊間地区の戦没者等追悼式、これは、今治のいつもさきがけが、いつも菊間から始まるのですが、このときに、お２人を含む、菊間中学校３年生による追悼の歌ふるさといつまでもを聴かせていただきました。普通、ソプラノ、女子の声がどうしても勝ってしまう。ところが、聴いておってこのハーモニー、男子も負けてなかったバスがきいて、素晴らしいハーモニーでありました。男子・女子ともにしっかりと声が出ており、若者のふるさとを思う気持ちの強さが胸に響く、すばらしい合唱でありました。それではまず、１点目の市は地域活性化のためにどのような取組みをしているかという難波議員からのご質問について、でございます。
　地域活性化とは、１つは、その地域で生産されたモノが売れることでその地域にお金が入ること、もう１つは、その地域に魅力を感じ、外部から人が訪れ、滞在し、又は暮らしていけること、であると思います。
　本市におきましては、地域産業への支援、新産業や新技術の創出、企業誘致などを行っているほか、魅力ある地域資源をＰＲするため、イベントや地域の活性化協議会への支援等の施策に取り組んでおります。菊間地域においては、先般、約６億円を投じ、地域活性化や防災の拠点となる菊間支所・公民館の大改修を行ったところです。そのほか、菊間町窯業協同組合、かんきつ等農産物の生産法人やＪＡ越智今治への支援、太陽石油株式会社をはじめとする企業に対する雇用促進の奨励策のほか、かわらぬ愛きくまや、お供馬の走り込み行事のような各種イベントへの支援など、様々な取組を行っています。
　次に２点目の地域活性化のために市と中学生が連携してできることはどのようなことがあるかという竹田議員のご質問についてお答えいたします。まず、皆さんには、市内で開催されるイベントや行事に積極的に参加したり、ボランティアとして関わったりして自分たちの地域を盛り上げてほしいと思います。瀬戸内しまなみ海道スリーデーマーチでは、西中、北郷中、大西中の皆さんがエイドのお手伝いを、日吉中、南中の皆さんがゴールでのお出迎

えのボランティアをされており、参加者に大変喜ばれています。こうした他校の事例を参考に、何ができるかを考えていただきたいと思います。また、皆さんが個々に、地域の情報発信をしていただきたいと思います。

市は、ホームページや広報を通じて、地域ＰＲ情報を発信していますが、今日では、情報量があまりに膨大なため、個々の興味に合わせた情報を届けることはなかなか大変です。そこで、皆さんからも市外在住のお知り合いの方に、菊間瓦、かんきつ、お供馬、仙高ポークは素晴らしいよと自信と誇りを持って伝えてもらいたいのです。菊間地域のことを一番良く知っている皆さんからの確かな情報は、信頼され、広がっていくものと思います。皆さんのＰＲ活動に、大いに期待をしております。

○阿部善斗中学生議会議長

竹田浩平議員、難波和佳奈議員。

○難波和佳奈議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長

以上で、竹田浩平議員と難波和佳奈議員の一般質問を終わります。

次に、３番立花中学校石村彩羽議員、中田貴之議員。

○石村彩羽議員

立花中学校３年石村彩羽です。

○中田貴之議員

３年中田貴之です。

○石村彩羽議員

私達はＣＯ２の増加について質問します。現在、地球温暖化が深刻な問題となっています

が、その主な原因として挙げられているものに、ＣＯ２の増加があります。調べたところによると、1960 年の大気中のＣＯ２濃度の増加率は、年間約０．７ｐｐｍです。それに対し2000 年は森林伐採や機械を動かすために石油を大量に使ったことなどが原因で、増加率が年間約２ｐｐｍと、約３倍に上昇していることが分かります。

○中田貴之議員

2002 年以降、大気中のＣＯ２濃度の増加率は歯止めがかかってきているそうですが、1960 年に比べると、まだまだ高い濃度を示しています。このＣＯ２増加の問題は、今治市に住む私たちにとっても例外ではなく、身近な問題だと言えると思います。今治市はタオルの生産や造船など、産業がさかんな地域です。その分、ＣＯ２の排出量も多くなってくると思います。ＣＯ２の増加を抑えるために、今治市として何ができるのか、考えをお聞かせください。以上で私たちの質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

石村彩羽議員、中田貴之議員ご質問のＣＯ２の増加についてに関しまして、私からお答えをさせていただきます。

立花中学校からは、地球温暖化問題についてのご質問をいただきました。これからの将来を担う中学生が、自然環境を守り育て、いつまでもよい環境で暮らし続けることを願う気持ちが伝わり、大変うれしく思います。

７月５日からの西日本の豪雨、そしてつい先般台風 12 号、思いがけなく関東地方からずっと西日本のほうに、曽ないコースでありました。こういったことを考えますと、地球温暖化問題といったこと、改めて考えさせられる、時期を得た、すばらしい質問だと思います。

地球温暖化は国際的な問題です。平成 27 年 12 月に開催されたＣＯＰ21 では、地球温暖化対策の新たな国際的枠組みであるパリ協定が採択され、日本は温室効果ガス排出量の削減目標を 2013 年度比で 26%削減することを決めました。ＣＯ２はこの温室効果ガスのひとつですが、2014 年度の本市のＣＯ２の排出状況は、市全体で 159 万２千トンとなっています。そのうち、産業部門は、63 万２千トンで、一時的に東日本大震災の影響により増加したものの、ほぼ横ばいから減少に向かっています。

ご質問のＣＯ２排出量削減について、今治市として何が出来るかということですが、本市におきましては、市職員の取組として、公共交通機関や自転車の利用など、自家用車での通勤を控えることによりエネルギーの使用を抑えるノーマイカーデーの導入、何人かで一緒に通勤してもらうライドシェア等を実施しています。また、企業に対し、省エネに関するアドバイスや情報提供を行い、クールビズやウォームビズ、こまめな節電やエコドライブの実践などを推進しています。その他、蓄電池システムや、燃料電池システムの設置、あるいは、住まいの消費エネルギー量よりも太陽光などで創られるエネルギー量の方が多い住宅の建

築や購入を行った家庭を対象とした補助制度を設け、家庭でのＣＯ２削減を進めています。家庭からのＣＯ２排出量は、産業部門の２分の１ほどの量ですが、市民一人ひとりが、家庭の中で、省エネに取り組んでいただくことが大切です。

市のホームページでも、家庭でできる節電ポイントを紹介しています。すぐにできる取組ばかりですので、ぜひそれぞれのご家庭で実践していただきたいと思います。石村・中田両議員の思いが社会全体に広がり、地球温暖化対策がよりいっそう進展することを期待しています。以上でございます。

○阿部善斗中学生議会議長

石村彩羽議員、中田貴之議員。

○中田貴之議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長

以上で、石村彩羽議員と、中田貴之議員の一般質問を終わります。

次に、27 番大島中学校西幸多議員、28 番村上瀬凪議員。

○西幸多議員

大島中学校３年西幸多です。

○村上瀬凪議員

３年村上瀬凪です。

○西幸多議員

僕たちは健康づくりについて質問します。僕は、健康づくりに必要なことは、運動・食事・精神の安定と考えています。

運動は、体力維持、体の機能低下防止、病気予防など、誰もが望む効果が期待できます。

食事は、学校給食に代表されるように、栄養価が高く、おいしい料理を食べることは体に悪いはずがありません。精神の安定については、子ども、子を持つ親、高齢者など、さまざまな立場の方々のニーズに応える相談機関等が必要と感じています。

○村上瀬凪議員

そこで質問します。今治市では、子ども、若者、子を持つ親、障がい者、高齢者、などすべての世代や立場の人々が運動に親しむための施設や指導員、条件は整っているのでしょうか。すべての世代、すべての立場の人たちが安全で栄養価の高く、おいしい食事ができるような条件は整っているのでしょうか。すべての人がカウンセリングや相談を受けられる機会は保障されているのでしょうか。以上の３点について、現状の説明と今後の整備プランをお示しください。よろしくお願いします。以上で私たちの質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

大島中学の西幸多議員、村上瀬凪議員にご質問をいただきました。大島中学と言えば、いろんな部活がんばってますが、特に剣道が有名ですし、こないだも女子の剣道ががんばっていた、新聞記事で拝見しました。そのお２人から、健康づくりについてお話がありました。１点目の運動に関しまして、私からお答えをさせていただきます。

本市では、多くの市民が運動に親しみ、健康づくりに取り組んでいただけるよう、様々なスポーツ施設を整備しており、各種教室や大会等にも活用されています。施設については、昨年の愛媛国体に向けて新設・リニューアルした施設をはじめ、各地域のそれぞれ特徴ある施設を活かしながら、バリアフリー化やトイレの洋式化にも順次取り組んでおります。また、使用料についても学生や高齢者は減額、障がい者は減額、あるいは無料とするなど、誰もが利用しやすい環境づくりに努めているところです。

指導員につきましては、今治しまなみスポーツクラブ、あるいは各種目協会が中心となって、さまざまなスポーツ教室や各種大会を開催しており、幼児から高齢者まで、あらゆる世代が運動・スポーツに親しむことができるように取り組んでいます。

クアハウス今治には、健康運動指導士・理学療法士・保健師・管理栄養士等がおり、高齢者向けの健康教室や体力測定などを実施し、健康づくりの方法を提案しています。

また、障がい者向けの施設であるサン・アビリティーズ今治では、障がい者スポーツ指導者を３名配置し、障害のある方の機能回復、健康の維持増進に加え、教養文化の向上及びスポーツ・レクリエーションの場として利用されています。

スポーツ種目も多種多様であるため、全ての市民の運動についての希望を叶えることは難しいのが現状ですが、今後も市民の健康づくりのため、施設や利用環境の充実に取り組んでいきたいと考えております。

その他のご質問につきましては、健康福祉部長からお答えさせていただきますので、よろ

しくお願いします。

○石丸司健康福祉部長。

私は桜井中学校出身です。柔道部でした。さて、大島中学校、西幸多議員、村上瀬凪議員ご質問の健康づくりについてのうち、２点目の食事、および３点目のカウンセリングの機会に関して、お答えします。

今治市では、健康づくり計画『バリッと元気』を策定し、運動や、食生活、こころの健康などにつきまして、市民の健康づくりのお手伝いをさせていただいております。まず、食事につきましては、栄養価が高くおいしいだけでなく、年齢や生活活動に適した、バランスの取れた食事をとることが大切です。保育所、小・中学校、障がい者や高齢者の施設などにおきましては、管理栄養士などの指導のもと、しっかりとバランスの取れた食事を提供しております。

次に、カウンセリングや相談を受けられる機会についてでございます。本市には、こども家庭相談、婦人相談、障がい者や高齢者相談、生活相談、法律相談など、それぞれのニーズに応える相談機関を設置しています。そして、カウンセリングや治療を希望される方、相談を受けて、より専門的な対応が必要と思われる方には、医療機関や、関係機関を紹介させていただくようにしております。

また、こころの安定につきましては、人それぞれに感じ方が異なります。ご自分にあった相談場所を見つけていただくため、相談機関一覧表を作成し、誰もが安心して相談できる場所をお知らせしています。相談場所は、市のホームページや広報紙に掲載しているほか、市役所や保健センターの窓口、また、学校にもお伝えしていますので、それぞれのニーズにあった相談機関をご利用いただきたいと考えています。

今後とも、市民の皆様が健やかで安心して暮らしていけるよう、しっかりと健康づくりの推進に取り組んでまいります。以上でございます。

○阿部善斗中学生議会議長

西幸多議員、村上瀬凪議員。

○村上瀬凪議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　以上で、西幸多議員と、村上瀬凪議員の一般質問を終わります。
　次に、５番桜井中学校西本怜生議員、６番北川野乃議員。

○西本怜生議員
　桜井中学校３年西本怜生。

○北川野乃議員
　３年北川野乃です。私たちは、小中学校への空調設備の設置について質問します。現在全国の小中学校の冷房設備設置率は49％で、お隣の香川県では設置率が97％となっています。夏は 30℃を越える環境の中で集中力を持続して学習するのはとても難しいことです。市内の高等学校や、校区内にある中等教育学校ではすでに空調設備が設置されています。高校生よりも体力の劣る小中学校にこそ、少しでも早く空調設備の設置を考えていただきたいと思います。また、現在ではほとんどの家庭に空調設備が設置されています。学校の環境をせめて家庭と同じレベルにすることが、学習効率を向上させることにつながると考えます。

○西本怜生議員
　以上の理由から、空調設備の設置を希望するのですが、今治市ではこのことに関してどのように捉えて、どのような対策を考えているのかをお聞かせください。よい環境の中でしっかりと学習し、将来の今治のために役立つ人間になりたいと思っています。よろしくお願いいたします。

○阿部善斗中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　西本怜生議員、北川野乃議員ご質問の小中学校への空調設備の設置についてに関しまして、私からお答えをさせていただきます。

しっかり勉強し、将来の今治のために役立つ人間になりたいという思い、私としましても非常にありがたく、そして、これからもずっと持ち続けてほしいと願っております。

実は空調問題、私のところに市長メールがきます。今年がことのほかの暑さであったせいか、一番小中学校の空調施設整備充実のメールが届いています。そういった中でお二人の質問でございます。ところで今治市には多くの公共施設がありますが、そのうち耐震対策が必要な施設もまだまだ多くあります。そうした中で、何より今治の宝であるみなさんの命を守るため、これまで、学校の耐震対策を最優先で実施し、小中学校校舎の耐震工事は平成 28 年度で完了したところです。現在は、天井や照明器具等の耐震対策、あるいは、雨漏りや校舎外壁などの老朽化対策、皆さんが日々利用されるトイレの洋式化改修などを順次実施しております。これらの他にも、電子黒板やタブレット端末を使った授業を行うためのＩＣＴ環境の整備など、様々なことを検討しています。この様に学校関係だけでも多くの課題がありますし、市全体では、更にたくさんの取り組まなければならない課題があります。

そういった状況ではありますが、本年４月に学校現場における環境衛生基準が改定され、望ましい温度の基準が見直されたことを踏まえ、みなさんの健康管理のために空調設備の設置を進めていく必要があると考えています。整備に際しては、学校現場の状況把握、意見聴取、整備に向けた財源の確保など、調査・検討すべき点が多くありますが、他市の先進事例も研究しながら、取り組んでいきたいと考えています。

学校の空調整備は、数も多いことから費用も時間もかかります。先生方には皆さんの体調管理には気をつけてもらうようお願いしておりますが、みなさん自身にもそのことをお願いするとともに、暑さに負けない体作りに心掛けてください。今、夏休み中ですが、特に今年は、これまで経験のない暑さが続いています。体調を崩さないよう気をつけながら、元気でたくましく成長し、将来の今治のために活躍してくれることを期待しております。

○阿部善斗中学生議会議長

西本怜生議員、北川野乃議員。

○西本怜生議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長

以上で、西本怜生議員と、北川野乃議員の一般質問を終わります。

それでは、ここで休憩を取りたいと思います。会議の再開は、13 時 40 分です。

○阿部善斗中学生議会議長
　それでは、会議を再開します。
　一般質問を続けます。
　次に、29 番伯方中学校山岡巧東議員、30 番馬越咲彩議員。

○山岡巧東議員
　伯方中学校３年山岡巧東です。

○馬越咲彩議員
　３年馬越咲彩です。

○山岡巧東議員
　僕たちは、下水道整備について質問します。僕たちが住んでいる伯方島では現在、今治市による下水道工事が行われています。その工事のために全世帯一律６万円の拠出を求められています。この整備費は年金で暮らしているお年寄りの方たちにとってかなりの負担になっていると聞きます。また、少子高齢化に伴い、せっかくつないだ下水道があまり使われないまま放置されるといったことも耳にします。

○馬越咲彩議員
　加えて、下水道整備をしない世帯にも６万円の負担を求めているということも聞いたことがあります。以上のことを踏まえて、１もともとある浄化槽の使用を廃止してまで下水道整備を進める理由。２今治市が整備する下水道工事であるにも関わらず、整備の是非に関係なく各世帯に新たな拠出を求める理由の２点についてお聞かせください。以上で私たちの質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長

伯方中学のお２人、この前の西日本豪雨では大変な災害、有津ではほんとに悲しい、人命が、伊方では非常に土砂がと皆さんも心配したと思います。しっかりと皆で元気でがんばって欲しい。そう願ってます。山岡巧東議員、馬越咲彩議員ご質問の下水道の整備についてに関しまして、私からお答えをさせていただきます。

皆さん、もし良かったら時々メモを取ってもらって、あの、本職の市会議員も目をつぶっている人も中には頭の中に入れているんでしょうけど、ほとんどメモ書きをしています。ですから、もし良かったら、メモ取ってもらったらいいと思います。

私からは、まず、本市の下水道について簡単に説明しておきます。下水道は、雨水を速やかに排除して浸水を防ぎ、汚水を処理して公共用水域の水質を保ち、快適で安心な暮らしを支える重要な都市基盤設備です。下水道が整備されますと、汚水を管渠で集めるため、水路などに雑排水が流れなくなります。すると水路の嫌な匂いや、伝染病を媒介する蚊や蝿の発生を防ぎ、快適で衛生的な生活環境が保たれます。また、ポンプ場や雨水調整池を建設することで、台風や大雨による市街地の浸水被害を軽減するのも下水道の大きな役割です。わたしたちが使った水は、下水処理場できれいになって川や海に戻った後、蒸発して雲となり、雲は上空で冷やされ雨となって地上に降りそそぎます。そして、川や湖に流れ込み、その水を浄水場で飲める水にして、私たちの生活においてまた利用されます。この水の循環の中で、私たちが使った水の再生という大きな役割を果たしているのが下水道です。

本市では、陸地部の市街化区域をはじめ、島嶼部の人口集中地域に整備している公共下水道、陸地部、島嶼部の点在する集落に整備している集落排水施設など、39 箇所の処理場で汚水の集合処理を行っております。山岡議員と馬越議員のお住まいのある伯方地区では、支所周辺から有津までを木浦・有津処理区として、平成 15 年 12 月から公共下水道の整備に着手しており、現在の処理区域内人口は約 2,000 人となっています。

後は、上下水道部長からお答えさせていただきますが、ちょっと今の話を聞きながら、私ではないのですが、私の先代一代前の町長がおりました。平成の初め頃、とにかく下水道を整備することが、この瀬戸内の環境保全、とりわけ美しい瀬戸内の海を守るんだ。そのためには、今の私達がしっかりと整備して、将来の、と言うことは皆さんのことだと思います、将来の住民に、ああやっぱり瀬戸内は清らかな素晴らしい海だねと言われるようなものを残したい、そういう話を住民説明会でよくしておりました。でもその当時はなかなか、飲み水については有料もやむを得んね、でも捨てる水に料金を払うなんて、と言う意識が強かったのが、平成の初め頃でした。しかしその私の先代の町長は本当に辛抱強く説得をし、そして、もう一つこれは県のほうからのお願いもありましたけれども、当時愛媛県で、やはり水不足、これが南予、宇和島を中心とした南予と、島嶼部、この飲料水の不足問題を解決する、知事からの強い要請もあって台ダム建設に当たっては随分ご苦労が多かった。でも、これをしたことによって、先般水害にあった有津の皆さん、その中から言われたことがあるんです。有津というところは非常に日当たりがよくって住みやすいところ、でも一つだけ、井戸水に頼らなければならない、海水淡水化に頼らざるを得ない、水、飲料水の問題このことが台ダムの建設によって解決できて大変ありがたいという話がありました。で、先を見る、我々政治

をしている者にとって大切な要素が絶えずその場しのぎでなくて、先を見てその時は辛くても、やっていかなければならないことは、やっていくんだと言う強い意志を私どもは勉強した思いがあります。ですから地域の皆さんが様々なことで負担の問題、これは下水道部長がお話しますけれども、いろんなことがあると思うけれども、それでも環境をよくしていくためには何が今必要なのか、こういったことを皆さんも一緒に考えていただければありがたいと思っています。私の後、上下水道部長が詳細についてお答えいたしますので、よろしくお願いします。

○阿部正志上下水道部長

私は南中学校、開校して4年後の昭和46年に入学して49年に卒業しました。40年以上前のことでございます。それでは、山岡巧東議員、馬越咲彩議員の下水道の整備についてのご質問にお答えいたします。

ご質問の1点目、もともとある浄化槽の使用を廃止してまで下水道整備を進める理由についてお答えいたします。生活排水は、一般的に、人家のまばらな地域では合併処理浄化槽、農村や漁村部の集落では集落排水施設、都市部等の住宅密集地では公共下水道によって処理しています。これは、生活排水処理の規模によって費用対効果が異なるからです。

本市では、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を実現するため、下水道整備が完了した区域の皆様に、早期の下水道への接続をお願いしています。この際、合併処理浄化槽を設置している場合も、同様に下水道への接続をお願いしているところです。これは、下水道による処理方式が浄化槽による処理方式よりも、処理水の水質、維持管理の手間等において有利となっているからですが、市民の皆様に、こういった理解を深めていただきながら、なるべく早期の接続について、お願いをしているところでございます。

続きましてご質問の2点目の今治市が整備する下水道工事であるにも関わらず、整備の是非に関係なく各世帯に新たな拠出を求める理由についてお答えいたします。下水道の整備には多くの費用と長い年月がかかります。下水道を計画的に整備するため、受益者負担金制度について、市民の皆様のご理解とご協力をお願いしています。現在整備中の伯方地区の場合、下水道が整備され処理区域となった後、下水道整備によって利益を受ける方々に1戸当り6万円を1度限りご負担いただいております。

道路や公園整備に代表される公共事業は通常、その受益が、広く一般の市民に及ぶため、その財源は主に租税によっていますが、下水道等の特定の建設事業で、費用の全てを税金で賄うことがかえって公平の原則に反することとなる場合、特に利益を受ける方から費用の一部を負担していただく制度が受益者負担金制度でございます。

下水道の場合、下水道が整備されることにより利益を受ける方の範囲がはっきりしていること、下水道の整備によって環境が改善され、未整備の地域に比べて利便性・快適性が著しく向上し、結果として、当該地域の土地の資産価値を増加させること、早期に利益を受ける方に相応の負担を求めることは負担の公平という観点から適当であること等の理由からご負担をいただいております。また、接続ができる状態になった時点で受益が発生していますので、接続の有無に関わらず、納付をお願いしている次第でございます。なお、ご質問の中

で高齢者にとってかなりの負担になっているとのご指摘がございました。制度上、負担を免除することはかないませんが、納期を数回に分けて納めていただく分納などの相談には適時応じておりますので、よろしくご理解の程、お願い申し上げます。

○阿部善斗中学生議会議長
　山岡巧東議員、馬越咲彩議員。

○山岡巧東議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　以上で、山岡巧東議員と、馬越咲彩議員の一般質問を終わります。
　次に、17 番今治明徳中学校岡田和樹議員、18 番瀧口侑加議員。

○岡田和樹議員
　今治明徳中学校３年岡田和樹です。

○瀧口侑加議員
　３年瀧口侑加です。

○岡田和樹議員
　僕たちは高齢者の交通事故防止対策について質問します。
　近年、全国で高齢者の運転に起因する重大な交通事故がよく報道されています。今治市でも高齢者の人口の増加により高齢者の運転に起因する交通事故の割合が増加していると聞きます。

○瀧口侑加議員
　これらの交通事故を減らすための対策として、免許証の自主返納制度がありますが、多く

の方に免許証の自主返納制度を利用してもらうために、今治市として具体的にどのような取組みをされていますか。以上で私たちの質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　今治明徳中学校、岡田和樹議員、瀧口侑加議員、今非常にメディアでも取り上げられております、高齢者の運転についてご質問をいただきました、私からお答えをさせていただきます。実は私もこの間、高齢者の免許の切り替えのときに、認知症のテスト、それから、運転を実際やってみての、そういったことを教習所で行なってきたばかりです。やっぱりこれは必要だなと、痛感いたしました。今年１月に、群馬県で高齢者が運転する自動車が歩道に突っ込み、皆さんと同年代の女子高校生が犠牲となる痛ましい事故が発生しました。運転に自信がなくなった高齢の方が、自主的に運転免許証を返納しやすい環境を整備すべく、愛媛県でも、愛媛県警主導で運転免許自主返納支援制度が設けられています。そして、運転免許証を返納した高齢者には、県警が認定した支援事業者により、買い物や、飲食料金、路線バス運賃の割引き、預金利息の割増しなど様々な特典が提供されており、本市では５月１日現在で 28 事業者の協力をいただいております。本市といたしましても、こうした免許返納制度や各種支援サービスについて、市のホームページでお知らせするとともに、今治、伯方それぞれの警察署や交通安全協会、連合自治会と協力しながら、高齢者に対する交通安全教室などの機会を利用して周知を図っています。ご質問にもありましたように、愛媛県では交通事故による死亡者のうち、65 歳以上の高齢者が占める割合が 61.5％と著しく高く、高齢者の事故防止対策は大きな課題となっております。その一環として、今後とも関係機関と連携し、運転免許証自主返納の普及促進に努め、加害者・被害者両面から高齢者の交通事故抑止を図ってまいりたいと考えております。以上でございます。

○阿部善斗中学生議会議長
　岡田和樹議員、瀧口侑加議員。

○岡田和樹議員
　再質問をします。それらの取り組みも大切なものだと思いますが、僕たちは高齢者が運転免許を必要とするのは、普段の買い物や通院などで困るからだと考えます。そこで、今までの取り組み以外にも、例えば免許証を自主返納していただいた方のタクシーの利用料金の何割か行政が負担したり、移動販売を活性化させたりするなどといった取り組みを進めていくべきではないでしょうか。

○瀧口侑加議員
　それによって高齢者の免許証の自主返納者が増加し、高齢者の運転に起因する交通事故は

減少すると思うのです。今後このような取り組みが進められることはあるのでしょうか。以上で再質問を終わります。

○片山司市民環境部長。
　日吉中学校出身の市民環境部長片山司です。再質問につきましては私からお答えいたします。高齢者の運転免許証の自主返納を促進するためには、制度の周知と併せて、返納後の支援サービスの充実が不可欠です。その中でも、特に通院・買い物など、日常生活における自家用車に替わる移動手段の確保が重要な課題と考えております。
　現在のところ、交通関係のサービスは、高速・特急バスを除く陸地部の路線バス運賃の５割引のみとなっておりますが、タクシーの割引き制度は導入されておりません。
　高齢者の運転に起因する痛ましい交通事故を少しでもなくすために、警察署と連携し、交通事業者のご理解とご協力をいただきながら、市内全域の路線バス、タクシー料金の割引きを含む代替交通手段の拡充を図り、高齢者を中心とした免許証自主返納制度の利用しやすい環境を整えてまいりたいと考えております。
　以上でございます。

○阿部善斗中学生議会議長
　岡田和樹議員、瀧口侑加議員。

○岡田和樹議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　以上で、岡田和樹議員と、瀧口侑加議員の一般質問を終わります。
　次に、７番南中学校古川結雅議員、８番越智晴美議員。

○越智晴美議員
　南中学校３年越智晴美。

○古川結雅議員
　南中学校３年古川結雅です。僕たちは、学校教育の充実について質問します。
　現代は、ＳＮＳの普及により、世界中の人々と盛んに交流することができるようになりました。僕たちの学校生活の中でも、ＡＬＴの先生と交流することができます。僕たちが正しい発音で英語を話せたり聞いたりできるのは、ＡＬＴの先生がいてくださるからだと思います。

○越智晴美議員
　しかし、ＡＬＴの先生は、１・２週間に１度来られるほどで、あまり交流の機会は多くありません。今後、今治市の英語力向上に向けて、ＡＬＴの先生に常駐していただくことは可能ですか。また、ビデオ通話を使った海外の学校との通信授業について、何か考えられていることはありますか。授業の通信化が進めば、英語に限らず、様々な教科でも学力の向上が見込めると思いますので教えてください。以上で私たちの質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長
　答弁を求めます

○菅良二市長
　今治南中学校、古川結雅議員、越智晴美議員、今お二人の礼儀作法を見ておりまして、今治で一番有名な礼儀を重んじるのが渦潮電機、ビーマックさん、即戦力で通用するなと思いました。お二人からは学校教育の充実についてに関しまして、私からお答えをさせていただきます。
　今治市では、しまなみ海道がサイクリストの聖地として海外の方にも認知され、インバウンド、いわゆる訪日外国人旅行で本市を訪れる人も年々増加しています。また本市の主要産業である、海事、タオル、エネルギー、食品産業などでも広く海外進出が行われており、将来こうした産業で働きたいと考えている人はもちろん、英語をはじめとする外国語力の向上やコミュニケーション力の向上が様々な分野で求められています。
　このような時代の中で、中学生の皆さんが、ＡＬＴが学校に来る機会を利用して積極的にコミュニケーションを図り、英語力を向上させようとしていることを両議員からお聞きし、たいへんうれしく思いました。
　本市では、生きた英語を体験し、国際化に対応できる人材を育成するために、日本食研さんのご協力で小・中学生の海外派遣事業を行っています。14 回目を迎える本年度は、20 名の中学生をオーストラリアに派遣します。また、姉妹都市であるアメリカのレイクランド市とは、高校生を派遣したり、中学生をホームステイで受け入れたりと 20 回を超える相互訪問を実施し、ますます友好交流を進めています。さらに、昨年５月に実施した姉妹都市パナマ市との交流 40 周年記念事業では、代表で出席した 50 名の小学校６年生が、積極的にパナマの方々と交流しました。

市内には、小中学校で連携をして英語クラブをつくり、地域に住む英語の堪能な方を交えて英語に親しむ活動を行っているところもあります。

中学生の皆さんには、これら様々な交流の機会に外国の方と積極的に関わることで、コミュニケーション力を発揮してほしいと願っています。また、現在は、英語を母国語として使う人より、コミュニケーションの手段である国際語として使っている人のほうが多くなっていることを踏まえ、英語を勉強する際には、国際語を学んでいるんだという気持ちで取り組み、世界で活躍する人となってくれることを期待しています。

その他の詳細につきましては、教育長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

○八木良二教育長

教育長の八木良二です。北郷中学校出身です。さて、古川結雅議員、越智晴美議員ご質問の学校教育の充実に関しまして、私からお答えさせていただきます。

まずＡＬＴの常駐についてですが、国は 2020 年度までに英語教育の充実を目指して、中学校でのオールイングリッシュによる授業、小学校高学年の外国語教科化、小学校中学年の外国語活動の実施を進めています。そして英語専門教員の充実や教員の英語力・指導力の向上を現在計画的に行っています。そのため、本市ではＡＬＴの常駐までは考えておりませんが、昨年度に１名、この８月から更に１名を加えた 14 名のＡＬＴで、現在行っている授業の補助を、今後も継続してまいります。授業中だけでなく、休み時間や放課後にも積極的にＡＬＴとコミュニケーションを図っていただいて、英語力の向上に努力してほしいと思います。夏休みと春休みには、ＡＬＴが企画をした中学生英会話教室も毎年実施されておりますので、学校でも積極的に参加をし、あるいは参加の呼び掛けをしていただいたらと思います。

次に、授業の通信化についてですが、議員ご発言の通り、学校のＩＣＴ環境を整え、それを効果的に活用することは、英語に限らず様々な教科において、学びの質や学力の向上に有効であることは言うまでもありません。

本市といたしましても、有効な機器の選定や活用方法、セキュリティー対策等について協議しながらＩＣＴ環境の整備を検討してまいります。以上でございます。

○阿部善斗中学生議会議長

古川結雅議員、越智晴美議員。

○古川結雅議員

ありがとうございました。以上で質問を終わります。

○阿部善斗中学生議会議長

以上で、古川結雅議員と、越智晴美議員の一般質問を終わります。

ここで議長交代のために休憩を取りたいと思います。議長交代後すぐに再開します。

会議再開後の議長は、立花中学校の石村彩羽議員にお願いします。

では、休憩をします。

○石村中学生議会議長

それでは、会議を再開します。

ここから議長をつとめます、立花中学校の石村彩羽です。よろしくお願いします。

一般質問を続けます。

次に、31 番大三島中学校藤井優月議員、32 番國貞慎由議員。

○藤井優月議員

大三島中学校３年藤井優月です。

○國貞慎由議員

３年國貞慎由です。私からは、観光の島、大三島の未来について質問させていただきます。

古来から国宝の島と言われ、大山祇神社をはじめ、海や山など美しい場所が数多くあります。近年では、サイクリストの聖地、民家を再生したカフェや猪を活用したレザークラフトや猪骨ラーメン、柑橘を取り入れた地ビールなど、テレビや新聞、雑誌などでたびたび取り上げられています。このような中で多くの観光客が訪れていますが、観光パンフレットが古くなったものも見られます。もし可能なら、世界各国から訪れる外国人、特にサイクリスト

のために最新の英語のパンフレットを作成していただけないでしょうか。また、観光だけでこの大三島を活性化できるのかどうか疑問に思っています。

○藤井優月議員

身近な例を挙げると、私の祖母はみかん農家を営んでいますが、父親が会社勤めのため日曜日しか手伝うことができません。祖母のつくるみかんは本当においしいと思います。大三島にはこのような家庭がたくさんあります。しかし、５年後、10 年後のことを考えると、高齢化や後継者不足で、せっかく島内の農家の方が愛情を込めてつくってきたみかん畑が荒地になる可能性があるのではないかと考えます。地元の後継者、または島外の移住者の方が、農業に夢や希望をもつことができる具体的な対策などをお願いします。

このように、より多くの人に大三島の魅力について知っていただき、農業に従事している方が希望をもつことができる環境づくりを行っていただきたいと願っています。

以上で私たちの質問を終わります。

○石村中学生議会議長

答弁を求めます。

○菅良二市長

合併になった大三島中学校、藤井優月議員、國貞慎由議員。観光の島、大三島の未来についてに関しまして、私からお答えをさせていただきます。

まず、冒頭、観光パンフレットについてお話がありました。１年に１回は更新を行っていますので、来訪者に最新の情報をお届けできるよう順次入れ替えを行っていきたいと考えております。また、一般の観光客向けには全５カ国語、サイクリスト向けには全６カ国語のパンフレットを用意しています。道の駅や市観光課に配備しておりますので、必要な方に、ご案内していただけたらと思います。

次に、活性化のご質問にお答えいたします。元来、大三島には風光明媚な風景や大山祇神社をはじめとした観光資源が集積しており、それらを生かした観光業と、かんきつ類の生産を中心とした農業が主要産業の地域であります。また、近年、大三島には、全国から様々な経歴を持った方々が移住され、地域の中に溶け込んで多彩な活動が行われるようになりました。中でも世界的な建築家伊東豊雄先生が主宰する伊東建築塾では日本一美しい島大三島をつくろうプロジェクトが進められており、伊東豊雄建築ミュージアムのスティールハットを中心に、古民家を活用したみんなの家や地ビールのブルワリー、大三島ワイナリーやふるさと憩いの家のリニューアルなどが行われています。

このような活動が盛んになっていますが、一方で地域内の人口は、10 年前と比較すると、約 20％も減少しており、議員、お２人の議員もこうした現状を憂慮されているものと思います。人口減少は、大三島や今治市だけでなく、国全体において喫緊の課題であります。そのため市としても、観光振興だけでなく、様々な地域振興、産業振興施策に取り組んでいます。

地域に暮らす住民の方、事業者、各種団体にもご協力をいただきながら、地域の魅力を高め、質の高い、価値あるモノを産み出していくため、たゆまぬ努力をしてまいります。質問の中で一例としてあげておられました、農業分野における具体的な環境づくりにつきましては、農水港湾部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

○新居田昌彦農水港湾部長。

大西中学校出身の新居田と申します。藤井議員のお話にもあったんですけども、私も皆さんと同じ世代のときには、兼業農家でみかんを作っておりまして、その主力は祖母でした。当時、私、お手伝いは苦手だったんですけども、食べることは大好きでしたので、毎年、肌の色がみかん色になるぐらいたくさん食べてました。私の方からは、農業分野についてをお答えさせていただきます。

今治市に移住をしてこられた方々の中には農業を生業として活動している方も多数おられます。当市では高齢化が進む農業分野の活性化のためには、新規で農業を始める方の確保が必要と考え、市内、市外を問わずに募集しています。平行して今治市、愛媛県、越智今治農協が協力し、農業を始める方をサポートする体制を作っています。大三島島内で農業を開始した人は現在９名で、いずれの方も柑橘を中心とした農業を営んでおります。また平成29 年度より、越智今治農協が独自に研修施設を整備し、地域の農業者の育成も始めております。今、この研修所での研修生も含め合計７名の方が将来の柑橘農家を目指して研修を受けています。

一方、農業を開始した後の経営という観点におきましては、皆さんご存知の、甘平や紅まどんな、これは正式には品種登録名が愛媛果試 28 号というんですけども紅まどんな、またその他、大三島の特産である瀬戸の晴れ姫等をはじめとする高級柑橘の売れ行きが好調です。また国産品の需要の高まりによりレモンも高値で取引されております。これらの高級柑橘と温州みかんや伊予柑などの従来の品種を組み合わせて、秋から春先まで途切れることなく出荷するというやり方をとっている農家の方が多いようです。このやり方だと柑橘の販売収入が長期間にわたるというメリットがあります。その他、今治市には越智今治農協が経営する産地直売店さいさいきてやをはじめとして多数の産直店が存在しています。共同出荷だけではなくこうした産直店も活用することにより、収入の多様化を図っています。

柑橘は今治市だけではなく愛媛を代表する特産品でその認知度も全国レベルです。地域の特産である柑橘を生産する新規農業者を育成し、先輩の農家と協力して農地を守り、地域の方々との交流を通じて地元を活性化してもらうことを目指しております。

最後ですが、先日の豪雨によって今治市は甚大な被害を受けました。農地においても例外ではなく大三島も多数の柑橘園地が被害をうけました。現在、愛媛県や越智今治農協と協議をしながら、どのような形で復旧を行うか検討しております。今後も引き続き良い農業が行え、地域の活性化に繋がるような取り組みを行いたいと思います。以上です。

○石村中学生議会議長

藤井優月議員、國貞慎由議員。

○藤井優月議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　以上で、藤井優月議員と、國貞慎由議員の一般質問を終わります。
　次に、９番西中学校首藤将旭議員、10 番矢島和佳議員。

○首藤将旭議員
　西中学校３年首藤将旭です。

○矢島和佳議員
　３年矢島和佳です。

○首藤将旭議員
　僕たちは、地域清掃・美化に関する質問をさせていただきます。
　私たちの学校では、一学期末にボランティア活動の一環として、校区内の清掃を行っています。今年の清掃でも、全校生徒で協力して活動に取り組むことができました。しかし、今年は気になる点がありました。それは、道路脇に茂っている雑草です。ごみの量は昨年より減っていましたが、除草されてないままにされている道路が目に付きました。

○矢島和佳議員
　現在今治市は、サイクリストの聖地として知られており、県外から多くのサイクリストが訪れるようになりました。また、しまなみ海道は四国の玄関口であるため、観光シーズンになると車で観光に来られる方も多く見られます。そんな方たちが、運転しながら見る景色が放置された雑草では、少しがっかりするのではないかと思います。そこで、今治市ではこうした環境の整備のために、どのような取組をされているのかお聞かせください。以上で私たちの質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　答弁を求めます。

○越智博副市長
　副市長の越智博でございます。玉川中学校出身です。首藤将旭議員、矢島和佳議員のご質問の地域清掃・美化についてに関しまして、私からお答えをさせていただきます。
　本市では、みんなでつなぐ　蒼と緑が彩るまち　いまばり　～山・川・海の美しい環境を次世代に～を将来の環境像として掲げ、誰もが今治を愛し、誇りが持てる地球環境にやさしいまちづくりを目標に様々な環境施策を展開しています。皆さんもよく知っている市民大清掃をはじめとして、市民の皆さんや地域、会社の皆さんの協力をいただきながら、環境美化活動が実施されているところです。
　特に、くるしまライオンズクラブの皆さんによる清掃活動は、２月のとても寒い中、玉川の水ヶ峠から始まり、波止浜の杣田、朝倉、桜井の長沢へと広がり、お互いの地域からの応援も来ていただくなど、市民からボランティアの精神を広げていただいております。
　また、平成 26 年度には、ごみを捨てる人を無くし拾う人を増やし、市民一人一人の意識を変え、今治市を日本一美しいまちにしたいとの思いを持たれた市民の方からご寄付をいただき、ボランティア清掃活動に対する支援制度を創設しました。現在、40 団体が市内各地域で活動されています。
　ご質問の中の除草されないままにされている道路につきましては、原則は国道、県道、市道などそれぞれの管理者が定期的に行っていますが、ご発言をいただきましたように、まだまだ除草が不十分な区間もあり、観光面でのイメージダウンにも繋がることから対応が必要であると考えております。可能な箇所については、ボランティアの方にご協力をいただくなど、工夫しながら、各道路管理者と協力して、より良い維持管理に取り組んでまいりたいと考えております。
　心無い人のポイ捨てを無くすことは簡単なものではありませんが、市民の方々の継続した地道なボランティア清掃活動によって、日本一美しいまちいまばりに向け一歩ずつ前進していると思っております。サイクリングのみならず、お遍路などでも多くの方が今治市を訪れます。美しい道、美しいまちで心のお接待ができるよう取り組んでまいります。
　皆様も、ご協力、よろしくお願いします。

○石村中学生議会議長
　首藤将旭議員、矢島和佳議員。

○首藤将旭議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　以上で、首藤将旭議員と、矢島和佳議員の一般質問を終わります。

次に、19 番朝倉中学校川崎和音議員、20 番長井尊将議員。

○川崎和音議員
朝倉中学校３年川崎和音です。

○長井尊将議員
３年長井尊将です。僕たちはスポーツを通しての交流活動・事業について質問します。
僕は、昨年今治市小･中学生等海外派遣団の一員としてオーストラリアに行かせていただきました。ホームステイ先には、僕と同じようにサッカーが好きな子どもがいて、学校が終わると一緒にボールを蹴ったりしました。スポーツは、国境を越えると感じた夏でした。今治市は、アメリカのレイクランドやパナマ市と姉妹都市であると聞いたことがあります。今治市は、それらの姉妹都市とスポーツを通してどのような交流活動に取り組んでいるのか教えていただきたいと思います。

○川崎和音議員
二つ目は、私は、ＪＦＡアカデミーに入校するために、大分市から今治市へやってきました。大分市に比べ、今治市にはスポーツパークをはじめとするたくさんのスポーツ施設があります。アカデミーの練習でもいろいろな施設を利用させてもらっており、とても感謝しています。私は、ＪＦＡアカデミーのスペイン遠征で、言葉は通じなくてもスポーツを通して心が通い合うことを実感しました。そこで、今治市が取り組んでいるスポーツ交流事業について、先ほどの国際交流以外の取り組みや今後の交流計画などがあれば教えていただきたいと思います。以上で私たちの質問を終わります。

○石村中学生議会議長
答弁を求めます。

○菅良二市長
朝倉中学のお２人、特にあの、川崎和音議員。１年生の時に見ておりまして、随分大きく

なったなというのが実感であります。そしてあの、長井議員も、サッカー、やっているんですね。２人がサッカーを通じてだけでなくて、生徒会も会長、副会長といった資料をいただきました。どうかこれからも、朝倉中学、しっかりと、今回もテーマスポーツであります。そのことについて、スポーツを通じての交流活動・事業についてのうち、海外の姉妹都市とのスポーツ交流に関しまして、私からお答えをさせていただきます。

先ほどの南中のご質問でもお話しましたように、1995 年、平成７年に姉妹都市提携したレイクランドとは、相互に訪問し、訪問回数は 20 回を超え、ますますの友好交流を進めています。レイクランドから今治に訪問団が来た際には、しまなみ海道をサイクリングしたり、剣道や弓道などの武道、スポーツではありませんが茶道なども体験してもらい、異文化交流を行っています。

1977 年、昭和 52 年に姉妹都市提携したパナマ市とは、児童、生徒の絵画作品の送付やタオルの贈呈などを行っていましたが、昨年度は、駐日パナマ大使の今治への訪問、バリシップへの参加、パナマ共和国での姉妹都市提携 40 周年記念イベント開催など、交流を深めているところでもあります。また、現在、2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、実は、パナマ共和国のホストタウンに名乗りを上げ、国への申請の準備をしているところであり、パナマ共和国選手のオリンピックへの出場を期待し、応援していきたいと思っています。パナマ共和国、皆さんご承知と思います。先般、世界中が熱狂したサッカーワールドカップにも出場しておりましたが、その代表チームが 10 月に新潟市で開催されるキリンチャレンジカップに来日し、サムライ・ブルー、いわゆる日本代表と対戦することになっておりますので、皆さんも、是非とも応援してあげてください。

その他のご質問につきましては、教育委員会、林事務局長からお答えさせていただきます。よろしくお願いします。

○林秀樹教育委員会事務局長

私は日吉中学校を卒業しました。教育委員会事務局長の林秀樹でございます。私からは川崎議員、長井議員のご質問のうち、２点目の国際交流以外のスポーツ交流事業について、お答えをさせていただきます。

国内の姉妹都市である広島県尾道市や群馬県太田市とも、毎年、小中学生のスポーツ交流大会を開催しております。1968 年、昭和 43 年に姉妹都市提携した尾道市とは、本年、姉妹都市提携 50 周年を迎えました。先の西日本豪雨では、今治市・尾道市とも甚大な被害となりましたが、その苦難を乗り越えようと、昨日１日はですね、因島で姉妹都市交歓スポーツ大会の中学生軟式野球大会を開催いたしました。同じく、５日には今治でミニバスケットボール、因島で小学生サッカーの大会が開催されます。

2002 年、平成 14 年に姉妹都市提携した太田市とは、今月 15 日から３日間の日程で、本市で小学生バレーボールの姉妹都市交歓スポーツ大会が開催されます。

両市とは、これら以外にも、行政や議会、民間同士、文化面など様々な交流が行われております。

また、本市では、１年間で約 400 の大会等が開催され、約７万５千人が参加しておりま

すが、その内、約４千人が県外からの参加選手であり、そこでもたくさんの交流が生まれております。

サイクリングにつきましては、自転車を通じたまちづくり交流協定を結んでおります滋賀県守山市や沖縄県名護市をはじめ、全国各地の自治体との交流も増えております。現在も、国内最大級の国際サイクリング大会をはじめ、スリーデーマーチや今治シティマラソンなど、スポーツに関連するイベントや大会を開催し、市外からもたくさんの方に訪れてもらっております。更なる交流を広めるために、先週開催されました全日本小学生ソフトテニス選手権大会、また、今週開催されます四国中学校総合体育大会など、各種全国大会やトップレベルの試合等の誘致に努めて参りたいと思います。以上でございます。

○石村中学生議会議長

川崎和音議員、長井尊将議員。

○川崎和音議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○石村中学生議会議長

以上で、川崎和音議員と、長井尊将議員の一般質問を終わります。

それでは、ここで休憩を取りたいと思います。

会議の再開は、15 時 00 分です。

○石村中学生議会議長
　それでは、会議を再開します。
　一般質問を続けます。
　次に、11 番北郷中学校井出湧大議員、12 番一文字楓子議員。

○井出湧大議員
　北郷中学校３年井出湧大です。

○一文字楓子議員
　３年一文字楓子です。

○井出湧大議員
　僕たちはＦＣ今治について質問します。
　ＦＣ今治はワールドカップで日本をベスト 16 へ導いた岡田氏が代表を務め、将来はＪ１やＡＣＬでの優勝を目指しています。また、サッカーを通じて今治に日本に世界に、夢と勇気そして感動と笑顔をもたらそうとしています。そこで質問です。今後、ＦＣ今治が昇格した場合、今治市とＦＣ今治の相乗効果を生み出すために、今治市としてＦＣ今治へどのような支援をしていくのか、また、今治新都市に土地の無償貸与という形でＦＣ今治のスタジアムを建造していますが、その施設を一般開放するなど利用の多機能化について、今後どのような取組みをしていくのか、考えをお聞かせください。

○一文字楓子議員
　今治市でサッカー人口や人気が急激に増加している一方で、他の競技でもジュニアスポーツや中高生が高い目標を掲げて日々活動しています。他の競技のサポートや他の競技施設の充実に対して、どのような対策をしていくのか、考えをお聞かせください。以上で私たちの質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　井出議員はサッカー部のキャプテン。ＦＣ今治のことについて非常に関心を持ってくれて、喜んでいます。それから大坂なおみさんよりもっと、すっかり日焼けした一文字楓子議員。今、戦歴を見ますと随分活躍。全国大会にも出た。さすがにソフトテニスの北郷と言いますか、これジュニアから随分と宇野先生を中心に頑張ってくれて、そして今もなお、強豪チームといったことで、２人がそれぞれの分野を質問してくれたこと、大変頼もしく思っております。私は、ＦＣ今治についてに関しましてをお答えをさせていただきます。
　まず１点目の今治市としてＦＣ今治へどのような支援をしていくのかについてでございます。現在ＦＣ今治は、Ｊ３昇格を目指し熱戦を繰り広げております。昨年９月にホームスタジアムありがとうサービス・夢スタジアムが完成し、多くの市民の方々が臨場感あふれるホームゲームを観戦することができるようになりました。ＦＣ今治をより多くの市民の方々に知っていただき、多くの方に足を運び楽しんでもらうためには、ＦＣ今治を愛するサポーターを増やす必要がございます。そこで、平成 27 年４月からほぼ毎月、広報今治でＦＣ今治の活動やスケジュールなどを掲載するとともに、ホームゲームには市の広報の職員が取材に行き、本市公式フェイスブックで試合結果をタイムリーに紹介しております。またＦＣ今治を身近に感じてもらうため市役所の本館ロビー、この下にあります、に、展示コーナーを設け、応援グッズや活動の紹介もしております。ＦＣ今治が見事、Ｊ３へ昇格を果たした後の支援については今のところ未定でございますが、他のＪ３のクラブチームがある自治体の支援を参考に、遜色がない支援を行ってまいりたいと思います。また引き続き広報活動等を通じてサポーターを増やすとともに、クラブとサポーターが共に歩んでいくことができるようしっかりと支援してまいります。
　次に２点目のＦＣ今治のスタジアムの利活用についてでございます。ありがとうサービス・夢スタジアムは、民間によるサッカー専用スタジアムとして整備されました。このため、施設の具体的な利活用について市が申し上げる立場にはありませんが、このスタジアムがスポーツによる賑わいづくりの拠点となり、広域交流が更に活発になることを期待しております。
　最後に３点目の他の競技のサポートや他の競技施設の充実についてでございます。サッカー以外のジュニアスポーツについても、昨年の「愛顔つなぐえひめ国体」にあわせて市営球場を含む大新田公園に約 29 億円、上屋付きテニスコート、これ評判がとってもいい、16 面のコート、一文字さんがよくご存知と思います。人工芝のサッカー場などの新都市スポーツパークに 53 億円かけました。体育館等に約、これリニューアルで 13 億円をかけて施設整備を行ってまいりました。これあの、合併特例債。12 の市町村が合併した、国の大きな方針でした。そのことに対するご褒美で、合併特例債を使うことができる。そういう国からの方向で、とりわけスポーツ施設、それからもっと大きなのはバリクリーン。大型のゴミ処理施設。こういったところに特例債を使いましたが、国体、愛媛国体等々もありますので、思

い切って、昭和 28 年以来でしたから、このスポーツ施設の整備にしっかりと活用させていただきました。これらを十分に、皆さん、せっかくできたもんです。活用をいただきながら、市スポーツ協会を通じて活動への支援をしてまいりたいと考えております。よろしくお願いします。以上です。

○石村中学生議会議長
　井出湧大議員、一文字楓子議員。

○一文字楓子議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　以上で、井出湧大議員と、一文字楓子議員の一般質問を終わります。
　次に、21 番玉川中学校阿部祥万議員、22 番大塚菜々議員。

○阿部祥万議員
　玉川中学校３年の阿部祥万です。

○大塚菜々議員
　３年大塚菜々です。私たちは、野生動物による被害について質問します。私たちの住む玉川の野山には野生動物が多く生息しており、その動物たちが山から町へ降りて来ることがあります。そして、事故を引き起こしたり、農作物や庭の植物を食べてしまったり、時には人を攻撃したりすることもあります。昨年も農作物を収穫する時期に野生動物によって掘り起こされ、食い荒らされた跡をあちこちで見かけました。

○阿部祥万議員
　また、複数の野犬の群れが町の中に現れ、それらに追いかけられ、襲われそうになった生徒もいます。また、市街地でもゴミステーションのゴミ袋をあさるカラスや鳩の糞被害など

多くの被害があります。これらのことに対して、それぞれの家庭で対策は取っているようですが、有効な手立てはなく、個人の力では限界があるような気がします。

そこで、今治市では、どんな野生動物がいてどんな被害があるのか、それらに対して、どのような措置を講じているのかを教えていただきたいと思います。以上で、僕たちの質問を終わります。

○石村中学生議会議長

答弁を求めます。

○越智博副市長

阿部祥万議員、大塚菜々議員ご質問の野生動物による被害対策ついてに関しまして、私からお答えをさせていただきます。

ご存知のように、野性動物による被害については全国的に深刻化している状況でございます。私どもの今治市では、豊かな自然に恵まれていることから、イノシシ、ニホンジカ、ニホンザル、タヌキ、ハクビシン、アナグマ、カラスなどの野生動物が生息しており、田や畑、住宅地周辺に出没して、住民の皆さんが育てた農作物を食べ荒らすなどの被害が発生しています。なかでもイノシシによる被害が全体の約7割を占めています。野生動物による被害は農作物以外にも、近年では、テレビでもよく取り上げられていますが、車との衝突事故や、住宅地などにイノシシなどの野生動物が出没し、人への被害が危惧されている状況です。

このような被害に対して今治市役所内に、昨年度から有害鳥獣対策室を設置し、警察、猟友会、農協などと連携して、いろいろな取り組みをすすめているところです。その一例として、農作物被害を軽減するため、農地にイノシシなどの野生動物の侵入を防ぐために、農家の方が設置する電気柵やワイヤーメッシュなどの防護柵、箱おりの経費に対して補助をしています。更に、猟友会のご協力をいただき、有害鳥獣捕獲を実施しており、平成29年度は、イノシシを1,473頭、カラスは1,247羽捕獲をいたしました。

また、ご質問にありました野犬対策については、市の担当課へご相談いただければ、犬の捕獲箱による捕獲や、地元住民の方々の要請による犬の捕獲箱の貸出し、今治保健所と連携しての捕獲の実施にも努めているところです。

野生動物による被害が増えてきたのは、野生動物にとって集落がエサ場となり、人慣れが進んだことがひとつの原因ともいわれています。

このような中、野生動物の状況等について、本年4月に開設された岡山理科大獣医学部とも意見交換・交流をはじめているところです。今後とも関係機関との連携を深め、有害鳥獣を捕獲する攻め、防護柵などの設置で侵入を防ぐ守りの対策に取り組むことはもちろん、野生動物とのすみわけに向けて、地域全体で有害鳥獣が寄り付きにくい地域環境づくりをすすめていくことが大切であると考えています。以上でございます。

○石村中学生議会議長

阿部祥万議員、大塚菜々議員。

○阿部祥万議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　以上で、阿部祥万議員と、大塚菜々議員の一般質問を終わります。
　次に、13 番日吉中学校丹下颯太議員、14 番赤尾真奈議員。

○丹下颯太議員
　日吉中学校３年丹下颯太です。

○赤尾真奈議員
　３年赤尾真奈です。今治市と言われて思い浮かべるものは、造船や今治タオル、そして、しまなみ海道からの絶景だと思います。私はここ今治が大好きです。しかし、日常生活のなかで、こんなところがもっとこうあったらなと思うところもあります。そこで、今治市を、もっと暮らしやすい町にするために、次の２つのことについて質問します。
　まず１つ目は、街灯についてです。学校付近の大通りには十分な明るさがありますが、大通りを外れると、街灯が少なくなります。部活動などで帰りが遅くなると、あたりが真っ暗になって不安に思うこともありました。事故を防ぐ点でも防犯の点でも、小さな通りにも街灯は必要ではないかと思うのですが、街灯設置の基準や暗い道への対策について教えていただきたいと思います。

○丹下颯太議員
　２つ目は、道路整備についてです。自転車に乗って通学しているとき、段差で転倒しそうになったり、かごに入れている荷物が飛び出しそうになったりすることがよくあります。また、学校の福祉体験学習で車いすに乗ったとき、段差の多さに改めて気付かされました。数センチの段差でも車いすで越えるのはとても大変でしたし、自転車に乗っている時以上に振動も激しかったです。道路を整備すれば、学生の通学の安全の確保だけでなく、バリアフリーにもつながると思います。今後、道路整備の予定はあるのかを教えていただきたいと思い

ます。以上、２つのことについて質問いたします。よろしくお願いします。

○石村中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　日吉中学校、美須賀と一緒になって、もうすっかり皆さん、慣れてきたと思います。大きくなって、部活動、また様々なことで充実した学校生活を送っているのではないかと期待もしております。今日は丹下颯太議員、赤尾真奈議員、質問いただきました通学路の安全についてのうち、１点目、街灯についてに関しまして、私からお答えさせていただきます。
　大通り以外の街灯の殆どは防犯灯といい、その設置及び電気料金の支払いや修繕などの管理は、皆さんのご家庭が加入している地域の自治会にお願いし、今治市は、その設置経費や年間の電気料金に対し、補助を行っています。平成 27 年度からは、新たな設置や交換は、従来の蛍光灯ではなく、長寿命で省エネルギー、環境負荷の低減に優れるＬＥＤ灯のみを補助対象としています。防犯灯の新設や交換の基準については、毎年各地区の要望を提出していただき、その整備状況を見ながら追加枠を設けるなど、できるだけ市内全域にまんべんなく普及するよう配慮しています。その他、危険個所など緊急を要する場合は、これ以外に臨機応変に対応しております。
　皆さん、部活動などで帰りが遅くなる人も多いと思います。夜間の交通安全や犯罪防止の観点から、通学路などの必要な箇所には、防犯灯の整備により、暗がりの解消を進めていかなければならないと思っています。今後も、自治会の皆様の協力をいただきながら、通学路の安全確保に取り組んでまいりたいと考えております。
　その他のご質問につきましては、一色都市建設部長からお答えさせていただきますので、よろしくお願いをいたします。

○一色剛司都市建設部長。
　都市建設部長の一色でございます。現在、日吉校区に住んでおりますけども、私の出身中学は旧東予市、現在の西条市の東予東中学校でございます。もう四十数年前のことでございます。それでは答弁に移らせていただきます。私の方からは、丹下颯太議員、赤尾真奈議員ご質問のうち、２点目の道路整備についてに関して、お答えいたします。
　一般的に、国道や県道、あるいはこれらを補う市道の幹線道路では、交通量調査等を基に、自動車交通と歩行者の分離、或いは自転車の走行に配慮し、計画的に整備しております。このほか、皆さんがよく利用されている生活道路につきましては、地域に密着した道路でありますので、その地域の要望を受け、住民との合意形成を行いながら整備を進めております。また、バリアフリーに関しましては、道路管理者、ＰＴＡ、警察や障がい者団体等との協議に基づき、今治駅周辺を重点整備地区として、駅から官公庁や病院などの利用者が多い周辺施設までの歩道の段差縮小を行っております。具体的には交差点歩道部分の５cm 段差を２cm に下げるなど、スムーズな走行ができるよう改善しています。

一方、既に整備されている道路には、例えば日吉中学校前のように５cm 以上の段差がある歩道や波打ったような歩道があることも承知しておりますが、これらは愛媛県や今治市などそれぞれ道路管理者が異なっている場合もありますので、各管理者間で情報を共有し、順次計画的に改修整備を検討してまいりたいと考えております。

また、これらの整備のほかにも、日常的な道路の維持管理も行っており、舗装の剥がれや歩道のブロック舗装の凹凸など危険なところを直ちに補修する体制を整えております。

このように、道路における安全の確保のためには、道路整備といったハード面の整備も必要ではありますが、中学生の皆さんも自転車で走行する際には、交差点付近での十分な減速を行うなど、交通マナーの向上についても、ご協力をお願いしたいと思います。以上でございます。

○石村中学生議会議長

丹下颯太議員、赤尾真奈議員。

○丹下颯太議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○石村中学生議会議長

以上で、丹下颯太議員と、赤尾真奈議員の一般質問を終わります。

次に、23 番大西中学校阿部善斗議員、24 番槇麗奈議員。

○阿部善斗議員

大西中学校３年阿部善斗です。

○槇麗奈議員

３年槇麗奈です。

○阿部善斗議員
　私たちは南海トラフ地震による自然災害への対策について２点質問をします。
　１点目は避難経路の整備についてです。私たちの住む大西町は、山と海に挟まれた自然豊かな地区です。小中学校は海に近く、巨大地震による津波が想定されるときに指定緊急避難場所が藤山健康文化公園になります。しかし、そこに通じる道や通学路は国道から一歩入ると細い道が多く、災害時には橋の崩落や土砂の流入などにより道が不通になることが考えられます。そこで、災害発生時に避難経路の安全および避難経路が不通のときの代替の避難経路をどのように確認すればよいのかについて教えていただければと思います。

○槇麗奈議員
　２点目は、避難方法についてです。私たちは毎年、小中地域合同避難訓練を通して、地域の幼児園の園児とともに学校から藤山健康文化公園まで移動する訓練をしています。しかし、学校が休みの日や夜間など学校がないときに災害が起こると、私たちは自分の判断で避難しなければいけません。そこで、幼児や高齢者の方々など単独での避難が難しい人の避難誘導はどのように計画されているのでしょうか。また、中学生の私たちにはどのような支援行動が求められるのでしょうか。
　以上２点について考えをお聞かせください。以上で私たちの質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　大西中学校の阿部善斗議員、槇麗奈議員。大西は比較的、昨年の台風 18 号、また今回の西日本の豪雨につきましても、比較的他の地域よりは恵まれていたな、と思っています。しかし、足元からくる地震。これはもう、本当に予期せぬこともございますから、お２人のこの南海トラフ地震。こういったことに対する備えという当を得た質問をいただいたなと思っています。私からはこのことにつきまして、まず１点目、避難経路の確認についてお話をさせていただきます。
　指定緊急避難場所になっている藤山健康文化公園への避難経路が、大規模災害時において不通となった場合、代替、代わりの避難経路の確認方法や、その時とるべき行動などについてどのように考えたらよいのかというご質問であります。
　本市では、住民の方に、災害時の危険箇所や避難場所などを示したハザードマップを各戸に配布するとともに、ホームページなどで周知していますので、これらをご覧いただき、避難場所の確認や何通りもの避難経路について、学校や地域の中で話し合っていただければと思います。
　愛媛県が策定した南海トラフ巨大地震による被害想定によりますと、今治市における津波到達時間は、地震発生から 161 分後で、最高津波水位は海抜 3.3 メートルとなっています。高知県などと比べますと、津波が襲ってくるまでには、あの佐田岬を通り淡路島を通ってや

ってくるといったことで、少し時間があるわけであります。藤山健康文化公園への避難経路がすべて絶たれた場合には、津波が襲ってこない場所にある指定避難所の大西公民館や大西老人福祉センターなどへ避難する方法もあります。いろいろなケースを想定して、普段からの避難訓練に役立ててもらいたいと思います。

また、今治市では直接市民の皆さまのもとへ出向き、災害時の対応などの理解を深めていただく出前講座も実施しておりますので、活用していただければありがたいと思います。

次に２点目の避難方法について、特に単独で避難が難しい人の避難誘導についてでございます。本市では、高齢者や障がいのある方など、災害時の避難において支援を必要とする方の調査を行い、名簿を作成しています。

これら名簿につきましては、自治会、自主防災組織、社会福祉協議会、地区民生児童委員協議会、消防団、この消防団がとっても頼りになります。消防団等に提供し、防災訓練や避難所マップの作成、緊急時の連絡網の構築等、避難支援を速やかに行う体制作りに活用していただいております。

皆さんがお住まいの周辺にも、一人暮らしの高齢者や小さなお子さまがいるお宅があるかと思いますが、災害時には、地域で声を掛け合い、みんなで早めの避難を心掛けてください。今回の倉敷市においても、やはりご近所の結びつきの強いとこは悲しい犠牲がなかった。本当にそういった意味では地域の連帯といったものはとっても大事であります。今後、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備えるためには、皆さんには、招集のあいさつにも述べました自助や共助を実践していただきたいと思います。

まず自分が無事であること、そして家族が無事であること、そして次には、自分の仲間、地域の皆さん。こういった方々を守れる人になっていただければと願っています。そして、もうひとつお願いしたいのは、避難所に皆さん集合します。で、そういったときには時間が経つにつれて、何となく皆さん、気持ちがこう鬱になってきがち。そんなときにこそ、若い皆さん方、中学生がにっこりと、そして元気で頑張ろうね、ひと声かけていただく。こういったことも、皆さんが思っている以上にお年寄りはそれが嬉しいんです。そういったことも含めて、いざのときには、それぞれが役に立ったねと言っていただけるひとりひとりであってほしいと願っております。以上です。

○石村中学生議会議長

阿部善斗議員、槇麗奈議員。

○槇麗奈議員

ありがとうございました。これで質問を終わります。

○石村中学生議会議長

以上で、阿部善斗議員と槇麗奈議員の一般質問を終わります。

次に、15 番今治東中等教育学校上森勇大議員、16 番相原良香議員。

○上森勇大議員
　今治東中等教育学校３年上森勇大です。

○相原良香議員
　３年相原良香です。私たちは、今治新都市での災害対策と防犯対策について、質問させていただきます。
　まず、防犯対策についてです。最近、殺人事件や犯罪行為がニュースなどで多く報道されています。そこで老若男女問わず集まる今治新都市では、どのような防犯対策がなされているのでしょうか。

○上森勇大議員
　次に、災害対策についてです。南海トラフ地震がこの 50 年の間に起こると予想されています。そこで、このような災害が起きた場合、今治新都市は臨時避難所として利用されることがあるのでしょうか。その際、高齢者、障がいをもたれた方々の対応はどのように考えられていますか。そして、そのような状況下で、大人の方々だけでなく、私たち学生に協力できることがあれば教えてください。以上で、私たちの質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　答弁を求めます。

○菅良二市長
　今日の 32 名の議員の大トリを務めてもらいます、この東中等教育学校の上森勇大、相原良香両議員。東と言いますといつも壮行会が、高校のときも中学もありますが、すごいなと思うのはとってもあの、なぎなたにしてもハンドボールにしても、素晴らしい返事が聞くことができます。これは、まあ、伝統になっているなと。皆さんの大きな、張りのある声が、他の中学や高校にもいい影響を今、与えている。当然私たち市の職員も、今大抵、何か名前、来賓挨拶等の、来賓の紹介等で呼ばれても、はいっという返事をすることができています。これは今治中にその皆さんのお気持ちが伝わっているんじゃないか。そういった意味におき

ましても、その伝統、しっかりと守っていただければありがたいと願っています。
さて、両議員ご質問、今治新都市での防犯・災害対策についてに関しまして、私からお答えさせていただきます。
まず、1点目、防犯対策についてでございます。多くの幅広い年代層の皆様が集まるイオンモール今治新都市の事例を紹介します。イオンモールでは、今治警察署指導の下に、従業員を対象とした不審者・凶悪犯対応訓練を実施しています。護身術の訓練や警察への迅速な通報、そして不審者に扮した警察官を警察官と一緒に取り押さえる模擬訓練を年間数回行っています。また、2020年の東京オリンピックなど、今後、国際イベントが予定される中で、テロリストが爆破テロを引き起すことを想定し、昨年10月には不審物への対応方法の習得など、テロ対処訓練が行われました。その他、警官による敷地内の巡回や専用の立ち寄り所の設置、また、警察署と防犯協会共催の防犯キャンペーンによる特殊詐欺防止の啓発など、犯罪被害を未然に防ぐための安心安全な環境づくりを進めています。
続きまして、2点目の災害対策についてでございます。南海トラフ巨大地震は、本年1月に今後30年以内の発生確率が70～80%に引き上げられ、今治市において、いつ巨大地震が発生してもおかしくない状況となっています。このような状況から、本市では、昨年7月にイオンモール株式会社およびイオンリテール株式会社と災害時応援協定を締結し、今治新都市内にあるイオンモール今治新都市の駐車場を指定緊急避難場所にしています。
また、新都市に隣接した西部丘陵公園、あの、しまなみアースランドにつきましても、自衛隊・消防・警察などの機関が救助活動等を行うための活動拠点として位置付けられています。このように今治新都市地域は、本市の防災拠点として、南海トラフ巨大地震のような災害が発生した際には、積極的に活用していく計画となっています。
一方、本市では、22箇所の福祉施設と協定を結び、災害発生時の避難状況に応じて、福祉避難所を開設する事となっています。一般避難所に避難されている高齢の方や障がいのある方で、支援が必要な方は、身体状況を保健師が確認し、必要に応じて福祉避難所に移動していただきます。また、この避難所では、保健師が巡回し、避難された方の健康相談や心のケアを行うこととなっています。
災害時には、高齢者などの配慮を要する方々については、地域の支えあいによって避難できる体制づくりが何より重要であり、地域で声を掛け合い、助け合い、早めの避難に心がけていただきたいと思います。
先ほどの大西の2人の議員にお話した通りです。そのことがとっても大事です。なお、熊本地震では、中学生がお年寄りの代わりに配給の列に並んであげたり、配給の水をお家まで運んであげたりと活躍している姿が紹介されていました。皆さんには、これからも機会を捉えて防災について学び、いざという時には、自分の仲間を、自分の住んでいる地域を守れる共助の一員となっていただきたいと願っています。もう身体もしっかり、心もしっかり強くなっている中学生の皆さんにお願いをいたします。以上です。

○石村中学生議会議長
上森勇大議員、相原良香議員。

○上森勇大議員
　ありがとうございました。これで質問を終わります。

○石村中学生議会議長
　以上で、上森勇大議員と、相原良香議員の一般質問を終わります。
　これで、すべての一般質問が終了しました。

○石村中学生議会議長
　ここで、菅市長さんから、今日の今治市中学生議会の講評をいただきたいと思います。
　菅市長さんよろしくお願いします。

○菅良二市長
　中学生議会の閉会にあたりまして、ごあいさつ申し上げます。議員の皆さん、ちょうどね、今、今治市の市議会、32 名。皆さんも今日は 32 名の中学生の代表が、今日この本会議に臨んでいただきました。長時間で、ずいぶん疲れたと思います。しかし、皆さん全員が堂々と自分の意見を発表し、また答弁や他の議員の発言にも真剣に耳を傾けておりました。さすがに各中学校を代表するひとりひとりだな、ということを強く感じています。
　そして、議長を務められた阿部善斗さん、それから、石村彩羽さん、お二人とも立派に大役を果たしていただきました。
　本日、議員の皆さんから、今治市の活性化をはじめ、地域や学校の環境整備、防災、地域活性化など、多岐にわたる質問やご意見、ご提案をいただきました。中でも私が嬉しかったのは、なんといっても、今治市のために、自分たちができることはないか今治大好き今治市のために役立つ人間になりたいといった思いを、多くの議員の皆さんから聞かせていただいたことでありました。
　中学生の皆さん一人ひとりが、今、地域の課題を解決するために何ができるかを真剣に考え、仲間と力を合わせ、行動を起こしてくれていることは、我々にとって何より力になる、エールであると思っております。その思いにしっかりと耳を傾け、一つ一つ着実に環境を整えながら、皆さんの頑張りと成長を応援したいと思います。
　そして皆さん方、次の世代に、胸を張って素晴らしいふるさと今治を引き継ぐことができるよう、今年のおんまくの題は「継ぐ」です。皆さんに、越智議長を始めとする議員の皆さんと私たち。一緒になって全力でまちづくりに取り組んでまいりたいと思います。
　これから、いよいよ、部活もほとんど終えて、いや、全国大会がまだあるよ、という方もいると思います。しかし、ほとんどの３年生、進学、就職、こういったことでこの地を一度離れるかもしれません。しかし、どこにいてもこの生まれ育った、この今治への思いというのは心にあると思います。一人でも多くの方が、自分がふるさと今治のために頑張ろう、今

治の未来を創っていこうという思いを共有してもらえたら、私にとって、ここにいる市議会議員の皆さんにとって、また我が今治市の職員にとっても、こんなに嬉しいことはありません。

本日は、傍聴席におこしいただいた、たくさんの方々からも、温かい激励と、これからの皆さんの成長への大きな期待をいただいたように思います。中学生議会の開催にあたりましては、本当にお力添えをいただきました先生方を始めとする関係者の皆さん、保護者の方々、心からお礼を申し上げ、閉会にあたってのご挨拶とさせていただきます。

本当に皆さん、ありがとうございました。

○石村中学生議会議長

菅市長さん、ありがとうございました。

以上で、本日の日程は全部終了しましたので、今治市中学生議会を閉会します。